

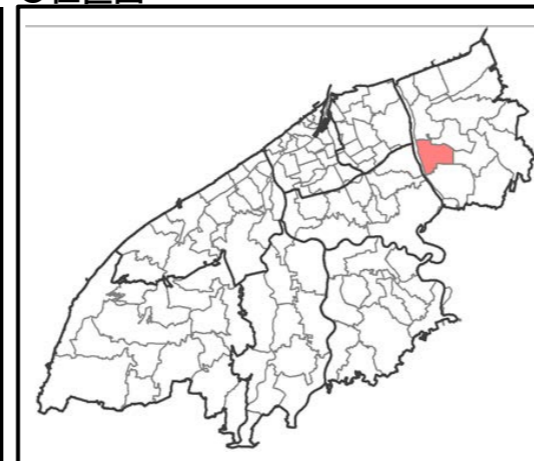
岡方第二小学校区

様式1 人口、建物、避難所等の施設、災害危険性の評価

●住所名称

| |
|---------|
| 大久保 |
| すみれ野4丁目 |
| 太子堂 |
| 高森 |
| 高森新田 |
| 三ツ森川原 |
| 三ツ屋 |
| 森下 |
| |
| |
| |
| |

●位置図



●施設・団体

| | | |
|--|----------------|--------|
| 市役所・区役所等 | — | |
| 警察・消防 | 岡方駐在所 | |
| 消防団 | 北方面隊 濁川分団・岡方分団 | |
| 水防倉庫 | — | |
| 一時避難場所 | — | |
| 広域避難場所 | — | |
| 主 利 な 用 要 施 配 設 慮 者 | 幼稚園・ 保育園 | 三ツ森保育園 |
| | 高齢者 福祉施設 | — |
| | 障がい者 福祉施設 | — |

●人口

| 年齢区分 | 人数 | 地区の割合 | 市の割合 |
|----------|----------------------|----------|------------------------|
| 総人口 | 2,325人 | | |
| 0～4歳 | 99人 | 4.3% | 4.0% |
| 5～14歳 | 243人 | 10.5% | 8.5% |
| 15～74歳 | 1,657人 | 71.3% | 74.6% |
| 75歳～ | 326人 | 14.0% | 12.9% |
| 65歳以上人口 | 624人 | 26.8% | 26.0% |
| 世帯数 | 691世帯 | | |
| 一世帯あたり人口 | 3.4人/世帯 | | 2.5人/世帯 |
| 人口密度 | 378人/km ² | | 1,108人/km ² |
| 昼間人口 | 1,395人 | 夜間の60.0% | |

●建物関連指標

| 建物種別 | 棟数 | 地区の割合 | 市の割合 |
|-----------|----------|----------------|-------|
| 総棟数 | 1,655棟 | | |
| 木造 | S55年以前建築 | 933棟 (56.4%) | 44.2% |
| | S56年以降建築 | 551棟 (33.3%) | 46.7% |
| | 計 | 1,484棟 (89.6%) | 90.9% |
| 非木造 | S55年以前建築 | 69棟 (4.2%) | 3.4% |
| | S56年以降建築 | 102棟 (6.2%) | 5.7% |
| | 計 | 172棟 (10.4%) | 9.1% |
| S56年以降建築物 | 653棟 | 39.5% | 52.4% |

S55年以前：主に旧耐震 S56年以降：主に新耐震
※集計時に端数処理をしたため、合計値があわなことがあります。

●地区内の避難所・津波避難ビルなど

| 施設名 [ヒ]:避難所、[ツ]:津波避難ビル・場所 | 標高 (m) | 階 数 | 避難可否 | | | |
|------------------------------|-----------|--------|------|----|------|------|
| | | | 地震 | 津波 | 洪水 | 土砂災害 |
| [ヒ]岡方第二小学校 | 2.9 | 3 | ○ | — | 2階以上 | ○ |
| [ヒ]三ツ森保育園 | 3.1 | 1 | ○ | — | × | — |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

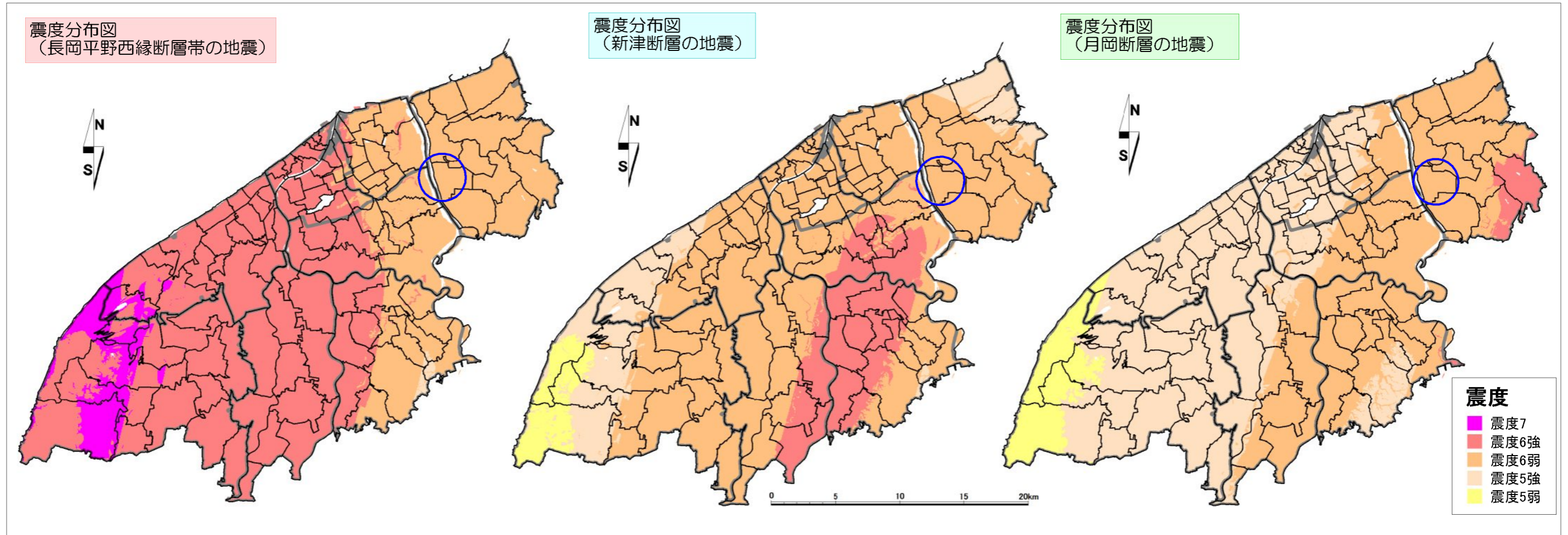
●地区外の避難所・津波避難ビルなど

| 施設名 [ヒ]:避難所、[ツ]:津波避難ビル・場所 | 標高 (m) | 階 数 | 避難可否 | | | |
|------------------------------|-----------|--------|------|----|------|------|
| | | | 地震 | 津波 | 洪水 | 土砂災害 |
| [ヒ]早通南保育園 | 1.4 | 2 | ○ | — | 2階以上 | — |
| [ヒ]早通コミュニティセンター | 1.8 | 2 | ○ | — | 2階以上 | — |
| [ヒ]早通児童センター | 1.6 | 1 | ○ | — | × | — |
| [ヒ]早通南小学校 | 1.6 | 3 | ○ | — | 2階以上 | — |
| [ヒ]早通北保育園 | 1.1 | 1 | ○ | — | × | — |
| [ヒ]岡方中学校 | 4.0 | 2 | ○ | — | 2階以上 | — |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

避難の可否(災害ごとに表記):開設する施設を「○」、避難可能な階数を「階数」、開設しない施設を「—」、避難に適さない施設を「×」

●災害危険性の評価

| | |
|------|--|
| 地震 | 地区の大部分が軟らかい地盤の上に分布するため、大きい地震の時には、強い揺れや液化化の可能性がある。 |
| 津波 | 津波による浸水は、新井郷川沿いの低地で想定されている。また、阿賀野川では水位の上昇が想定されている。 |
| 洪水 | 阿賀野川の洪水、新井郷川・新発田川流域の洪水及び安野川の洪水によって、浸水の可能性がある。特に、阿賀野川の洪水では、地区のほぼ全域で浸水の可能性がある。 |
| 土砂災害 | また、一部地域に土砂災害警戒区域等が分布しており、がけ崩れの危険がある。 |



| | 長岡平野 西縁断層帯 | 新津断層 | 月岡断層 |
|----------------------------|--|--|--|
| 地震の規模: モーメント マグニチュード | 7.46 (気象庁マグニチュード 7.9に相当) | 6.45 (気象庁マグニチュード 6.7に相当) | 6.76 (気象庁マグニチュード 7.1に相当) |
| (参考※) | 平均活動間隔 約 1,200 年~3,700 年 断層の活動性 3m/千年程度 | 明確な活動性は明らか になっていない。 月岡断層より、活動性 は低いと考えられる。 | 平均活動間隔 7,500 年以上 断層の活動性 0.4m/千年程度 |

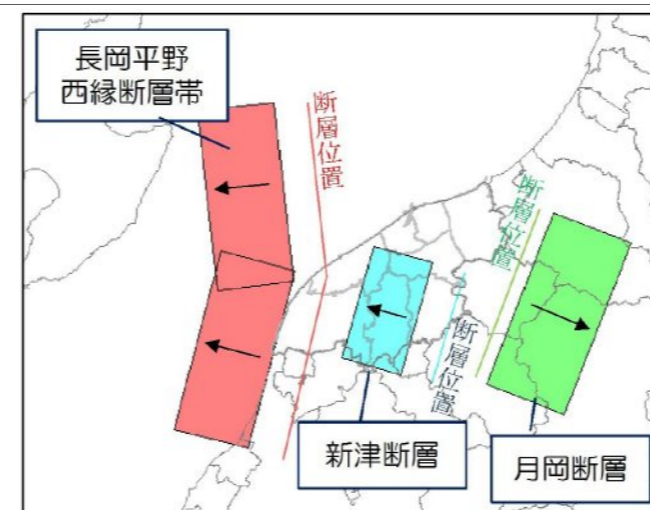
※(参考) 国の地震調査研究推進本部の活断層帯の長期評価(算定基準日:平成 27 年 1 月 1 日)及び東京大学地震研究所 佐藤比呂志教授の助言を参考として記載しています。

【地震発生確率について(地震調査研究推進本部資料より)】

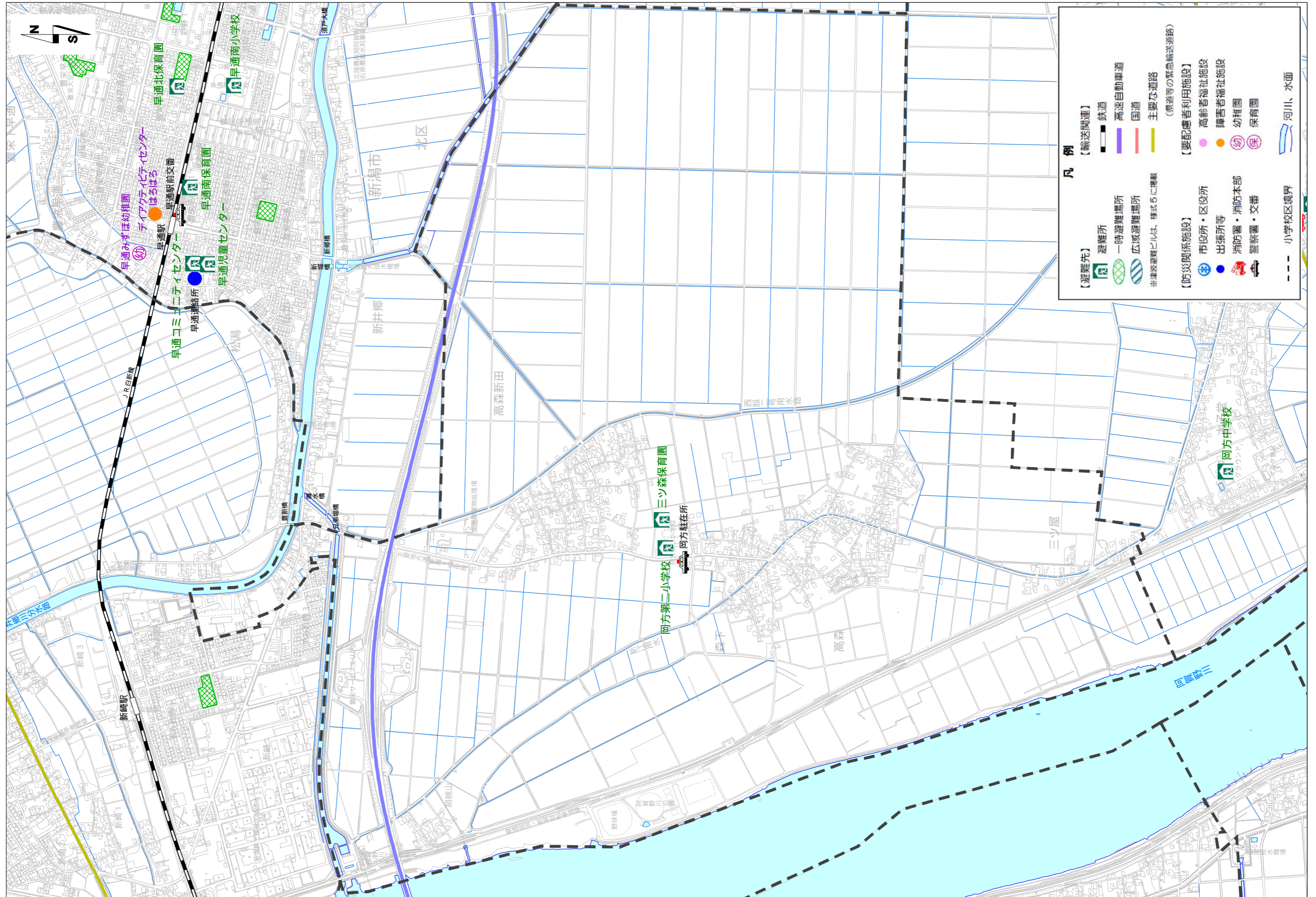
過去の地震活動の時期や発生間隔は、幅を持って推定せざるを得ない場合が多いため、地震発生確率は不確定さを含んでいます。また、新たな知見が得られた場合には、地震発生確率は変わることがあります。

<<モーメントマグニチュードと気象庁マグニチュード>>

モーメントマグニチュードは、地震で岩盤が動いた面積等をもとに計算するため、計測に時間を要しますが、エネルギーの規模を正確に測定することができます。これに対して、気象庁マグニチュードは、地震計で計測される波の振幅から計算しており、迅速に発表することができます。

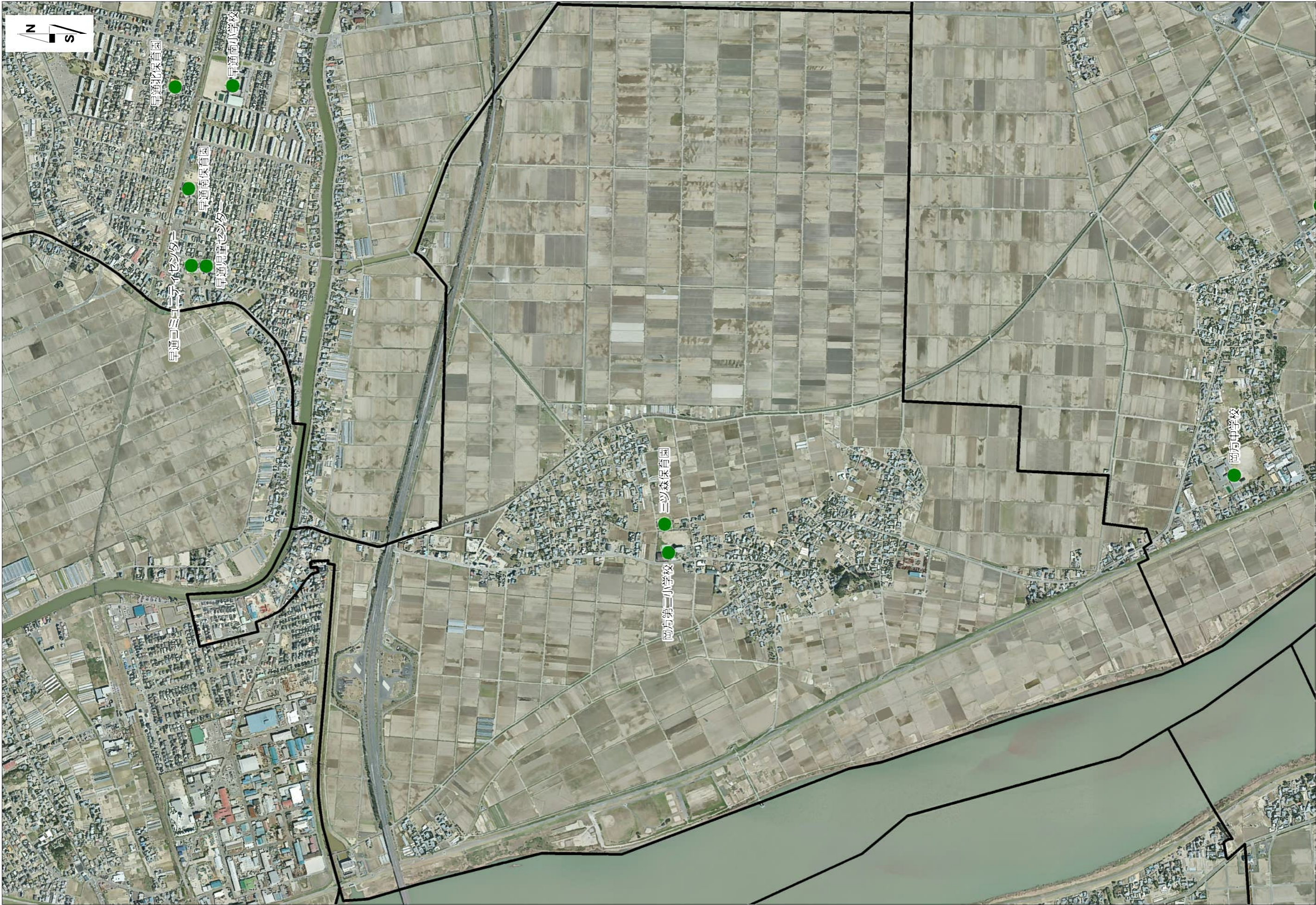


← は、断層の傾きを示しています。



[出典] 基盤の地図 新潟市国土基本図 (平成20年, 平成25年, 平成26年)



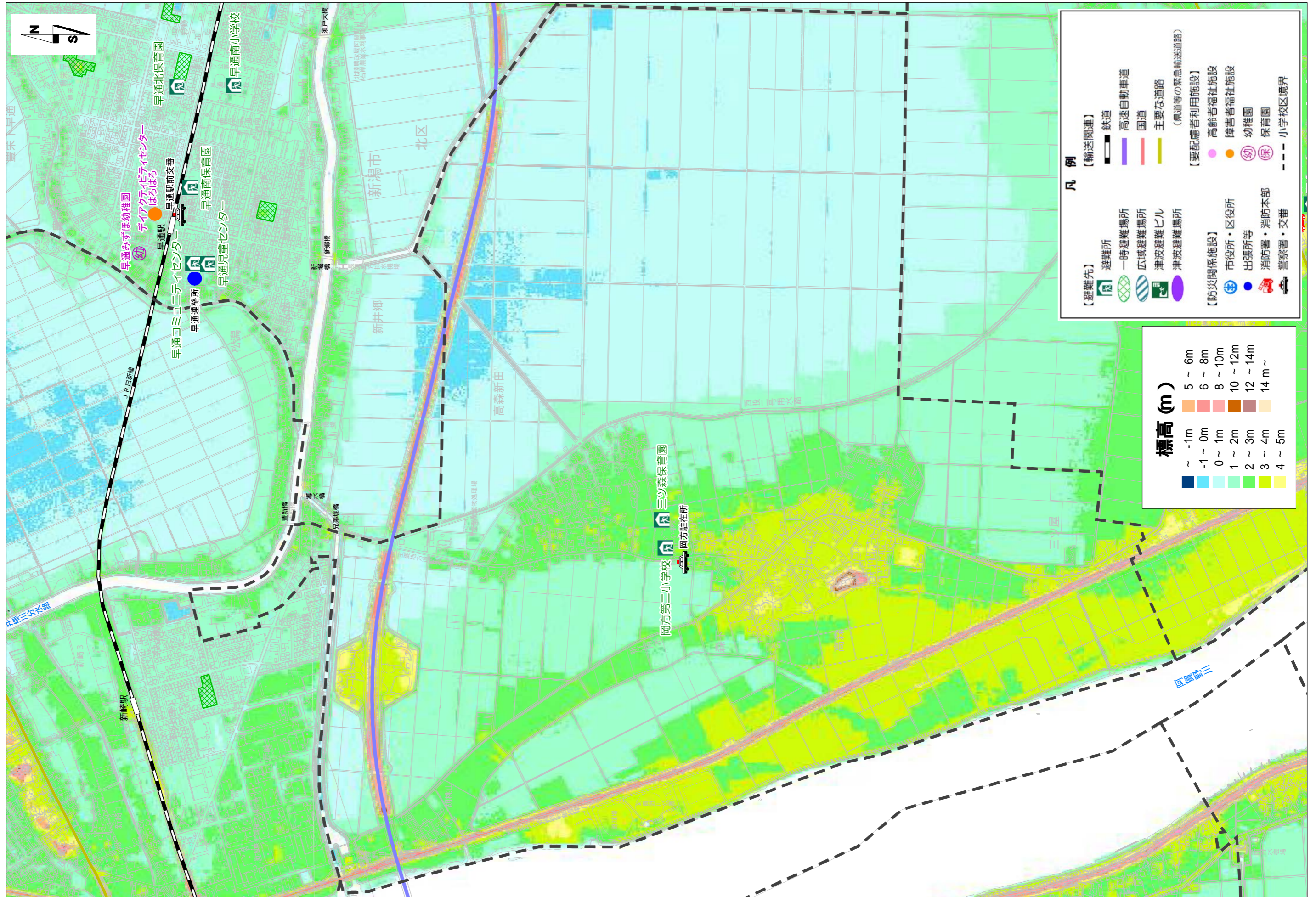


[出典] 航空写真(平成26年4月)

0 100 200 400 600 800 1000m

様式5 標高分布図

岡方第二小学校区



凡例

| | |
|--------------|-------------------|
| 【避難先】 | 【輸送関連】 |
| 避難所 | 鉄道 |
| 一時避難場所 | 高速自動車道 |
| 広域避難場所 | 国道 |
| 津波避難ビル | 主要な道路 |
| 津波避難場所 | (県道等の緊急輸送道路) |
| | 【要配慮者利用施設】 |
| | 高齢者福祉施設 |
| | 障害者福祉施設 |
| | 幼稚園 |
| | 保育園 |
| | 小学校区境界 |

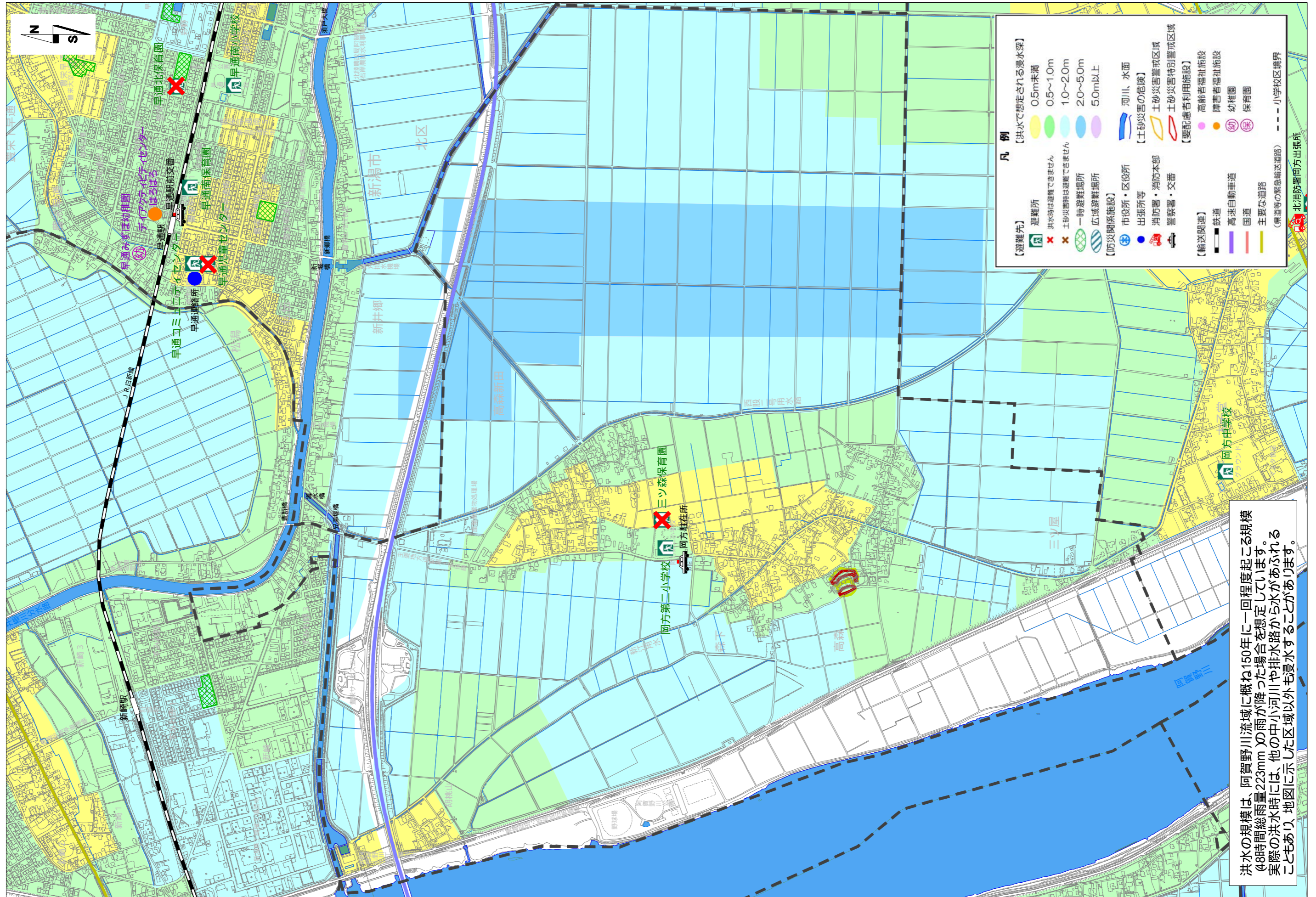
標高 (m)

| |
|----------|
| 5 ~ 6m |
| 6 ~ 8m |
| 8 ~ 10m |
| 10 ~ 12m |
| 12 ~ 14m |
| 14 m ~ |
| ~ -1m |
| -1 ~ 0m |
| 0 ~ 1m |
| 1 ~ 2m |
| 2 ~ 3m |
| 3 ~ 4m |
| 4 ~ 5m |

[出典] 基盤の地図 新潟市国土基本図 (平成20年, 平成25年, 平成26年)
5mメッシュDEM (国土地理院, 平成25年)



様式6-1 風水害（洪水・土砂災害）対策地図（阿賀野川）

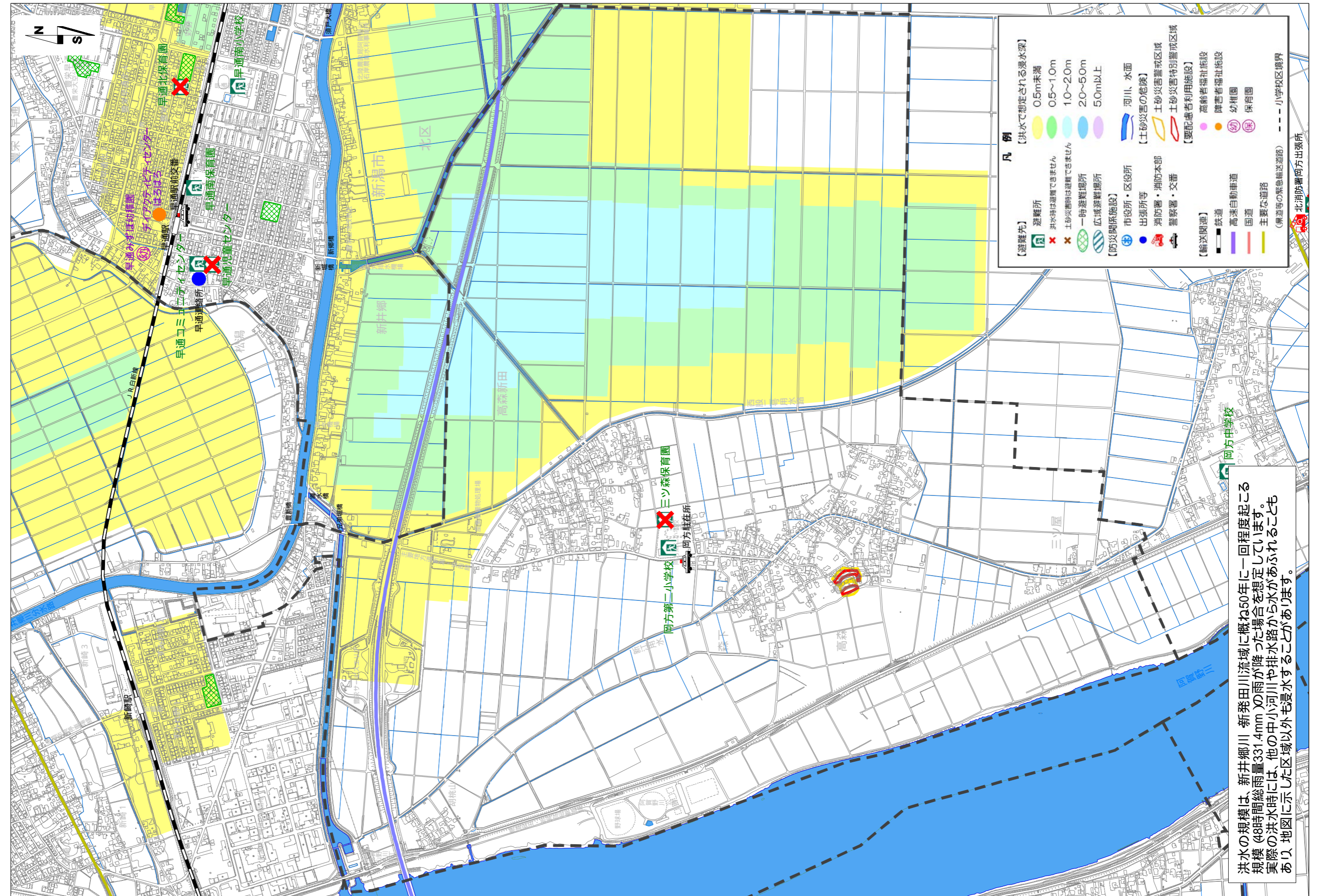


洪水の規模は、阿賀野川流域に概ね150年に一回程度起こる規模（48時間総雨量223mm）の雨が降った場合を想定しています。実際の洪水時には、他の中小河川や排水路から水があふれることもあり、地図に示した区域以外も浸水することがあります。

【出典】 基盤の地図 新潟市国土基本図（平成20年，平成25年，平成26年）
阿賀野川浸水想定区域（国土交通省，平成14年1月31日）



様式6-2 風水害（洪水・土砂災害）対策地図（新井郷川 新井郷川分水路 福島潟 福島潟放水路及び派川加治川） 岡方第二小学校区



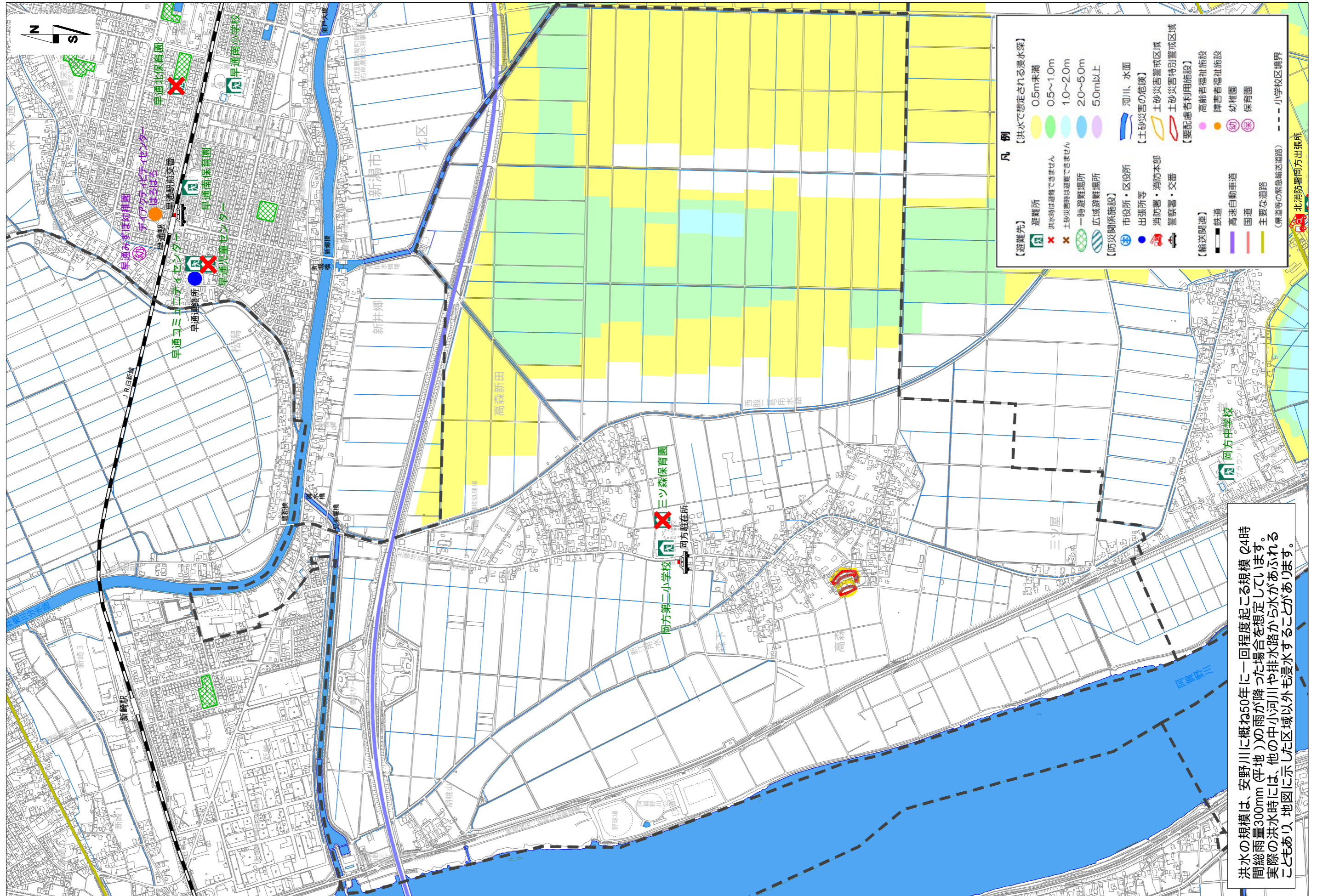
凡例

| | |
|-----------------|----------------------|
| 【避難先】 | 【洪水で想定される浸水深】 |
| 避難所 | 0.5m未満 |
| 洪水時は避難できません | 0.5～1.0m |
| 土砂災害時は避難できません | 1.0～2.0m |
| 一時避難場所 | 2.0～5.0m |
| 広域避難場所 | 5.0m以上 |
| 【防災関係施設】 | 河川、水面 |
| 市役所・区役所 | 土砂災害の危険 |
| 出張所等 | 土砂災害警戒区域 |
| 消防署・消防本部 | 土砂災害特別警戒区域 |
| 警察署・交番 | 【要配慮者利用施設】 |
| 【輸送関連】 | 高齢者福祉施設 |
| 鉄道 | 障害者福祉施設 |
| 高速自動車道 | 幼稚園 |
| 国道 | 保育園 |
| 主要な道路 | 小学校区境界 |
| （黒道等の緊急輸送道路） | 北消防署岡方出張所 |

洪水の規模は、新井郷川 新発田川流域に概ね50年に一回程度起こる規模（48時間総雨量337.4mm）の雨が降った場合を想定しています。実際の洪水時には、他の中小河川や排水路から水があふれることもあり、地図に示した区域以外も浸水することがあります。

【出典】 基盤の地図 新潟市国土基本図（平成20年、平成25年、平成26年）
 新井郷川 新井郷川分水路 福島潟 福島潟放水路及び派川加治川浸水想定区域（新潟県、平成16年6月23日）





洪水の規模は、安野川に概ね50年に一回程度起こる規模（24時間総雨量300mm（平地）の雨が降った場合を想定しています。実際の洪水時には、他の中小河川や排水路から水があふれることもあり、地図に示した区域以外も浸水することがあります。

[出典] 基盤の地図 新潟市国土基本図（平成20年，平成25年，平成26年）
安野川浸水想定区域（新潟県，平成21年8月21日）

